

## 第2回代議員会議事録

日時：平成24年12月27日

場所：新橋 味之苑

出席者（敬称略）：真壁監査役、八尾（8期）、鈴木亨（15期）、青木（17期）、神島（17期）、相澤（21期）、腰高（23期）、古川（27期）、星野（29期）、木戸（47期）

### I) 各ユニットからのテーマ毎の意見発表

#### 1) 海外遠征について

U1（1～10期）：【多数意見】現役の意向をまず聴取。【少数意見】NBAの短期スクール派遣も検討したらどうか。

U2（11～15期）：現役が望むなら実施。ただし、OBの負担に十分配慮が必要。

U3（16～20期）：実施しなくてもよい。現地OBの負担が大きすぎる。現役にとっても現状連盟戦の対応だけでも大変。また遠征するような実力が伴っていない。就職活動も年々早く始まっており時間的な余裕もない。バスケット中心の海外交流ではない活動の仕方もあるのでは。

U4（21～25期）現地および世話枠のOBの苦勞を考えると、軽々に現役の希望だけで実施を判断すべきではない。また、海外遠征時のリスクをどれだけOB会が負えるか疑問。

U5（26～30期）：現役のためになにかOBが苦勞するという気にはなれない。

U6（31～35期）：

U7（36～40期）：【多数意見】現役がのぞむなら実施すべき。【少数意見】実施しなくてもよい。OB会が決定すべき。

U8（41～45期）：

U9（46～51期）：現役にとっても有益なので実施できればよい。

#### 2) 名簿について

U1：発行は続けるが、デジタル化する方向で検討したら？パスワードを使用すれば外部流出は防げるのでは。毎年発行するのも不要。

U2：今迄通り発行してほしい。予算の観点から会報の年1回発行も検討すべきでは？デジタルもアナログも同リスク。

U3：今迄通りのやりかたでよい。現役が就活の際、OBの存在について確認する資料となっている。

U4：支出項目の中で最も大きく、発行頻度を減らすもしくは紙媒体を止めるという意見があった。これは会報の作成費と発送費用も含まれており、誤解を与えている可能性がある。

U5：媒体問わず作成・発行すべき。隔年も検討の余地あり。

U6：

U7：現在の紙媒体のままでよいという意見と媒体問わず名簿は必要ないという意見両論あり。

U8：

U9：ありがたいので紙媒体で発行してほしい。デジタル化の方が個人情報の管理は大変。

### 3) 会費未納者への対応

U1：各代幹事中心に督促するのがよい。退会処置は議論を要する。

U2：数回の督促を経て、本人が楽籠とかかわるつもりがなければ退会とすべき。

U3：各代幹事や身近な代が督促すべき。

U4：

U5：

U6：

U7：【多数意見】各代幹事が未納者に退会の意思を確認し、支払いの意思のあるものだけ払ってもらおう。退会の意思があるものは退会を許可する。【少数意見】OB会主導で督促する→数回の督促を経て未納者は強制退会。これまで通り同期中心に督促する→強制退会は原則なし。

U8：

U9：横のつながり（各代幹事の役割）が希薄であるのが問題。

### 4) 楽籠60周年などOB会主導のイベントについて

U1：テーマを決めて実施する。

U2：独立採算でやるべき。

U3：やってもよい。

- U 4 :
- U 5 :
- U 6 :
- U 7 :【多数意見】実施する必要はない。【少数意見】実施すべき。ただし独立採算で
- U 8 :
- U 9 : 若手中心で運営すべき。

## 5) OB会予算の支出項目や配分について

- U 1 : 特に不満はない。決算予算報告にコメントが欲しい。会費を少なくする検討があってもよい。
- U 2 : 不満はないが、できればANWの予算を増額してほしい。
- U 3 :
- U 4 :
- U 5 : 特に不満は無い。
- U 6 :
- U 7 :【多数意見】特に不満なし。自動引き落としの会費徴収のあり方を考えるべきでは。名簿は隔年発行し支出を減らす。
- U 8 :
- U 9 : 特に不満は無い。

## 6) 川先生誕100周年行事をどうするか

- U 1 : ほかの団体とも連携し実施の可能性を探る。堅苦しくない居酒屋でやるのもよいのでは。
- U 2 : 反対ではないが、実施方法を工夫すべき。
- U 3 : やらなくてもよい。
- U 4 :【少数意見】他サークルの後追いならば楽籠としてやるべきではない。
- U 5 :
- U 6 :
- U 7 :【多数意見】実施反対。有志が墓参をすればよい。【他意見】賛成。オリジンを大

切にすることはよいこと。

U 8 :

U 9 : 意見が割れた。知らない世代にとって戸惑いもある。ただ、創設者をするよい機会かもしれない。

## 7) 「続川先伝」の製作費予算化について

U 1 : 予算化への反対意見が多い。有志（川先を知る人）が金を出す形ならOK。

U 2 : 予算化賛成だが、内容をもうすこし具体的に説明してほしい。

U 3 : 予算化は反対。

U 4 : 7割が賛成。

U 5 :

U 6 :

U 7 : 【多数意見】 予算化反対。「天現寺遠近」で十分。【他意見】 実施賛成。オリジンを大切にすることはよいこと。

U 8 :

U 9 : 意見が割れた。知らない世代にとって戸惑いもある。ただ、創設者を知るよい機会かもしれない。

## 8) 現在の現役部員の人数減少について

U 1 : 基本は現役の問題だが、何らかの関与した欲しい。現役のとの接点を設けることで解決の糸口をつかみたい。

U 2 : OBとしてはやり様がないのでは。

U 3 : 関わるべきではない。

U 4 : 口はださない。

U 5 :

U 6 :

U 7 : 関与しなくてよい。「独立自尊」の精神を損ねる。現役からヘルプを求められたら考えればよいのでは。楽籠がなくなっても同期や仲間の円が切れるわけではな。OBが関与して部員数が増えるのか疑問。幽霊部員の存在に驚き。

U 8 :

U9:若いOBにとって危機感はある。ただし、実情をよく知らないと対応はできない。

## Ⅱ) 真壁監査役からの意見

今回の代議員会では回答率は高くないかもしれないが、大多数のOBにOB会と現役の現状の問題点、課題を投げかけられたことは評価できる。これを今後スタートとしていけたらよい。今日は何かを決めるという段階ではないが、一旦物事が決まったら、OB全体へのフィードバックは忘れずにしてほしい。手段としてはホームページに発表することや、各代幹事を通じて伝えてもらう方法もある。会費未納者への対応はルール化が必要。(現役対策は)楽籠大会にOBが出席することが解決の原点ではないか。

## Ⅲ) その他の意見

(海外遠征について)

- \*まとまらない期、OB会活動に熱心ではない期は海外遠征に行ったことがOBとしてのプレッシャーになっているからではないか。
- \*海外遠征で現地のOBが大変な苦勞をして運営していたかをもっと広報する必要がある。

(名簿について)

- \*名簿がどんな時に必要になっているかの認識に違いがあるのでは。(アンケートを実施予定)
- \*楽籠というブランド?に箔付けしているだけか?OBにとって同期だけがわかればいいのか?就職先と何期かがわかればいいのか?
- \*名簿は事務局としての事務に絶対必要。それも郵送した名簿が事務局に返送されて移転したことが判明するわけなので、郵送しなければ移転したかどうかもわからないまま。

(現役への関与)

- \*卒業した高校で楽籠を周知することが、新入生を楽籠に入会させる近道ではないか?
- \*OBとして現役に接触する入り方が難しい。

以上